



 関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

関西学院大学 国際教育・協力センター クロス・カルチュラル・カレッジ事務局
Kwansei Gakuin University
Center for International Education and Cooperation (CIEC)
Office of the Cross-Cultural College
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
ccc-office@kwansei.ac.jp
TEL.0798-54-6046 URL.<https://ciec.kwansei.ac.jp/ccc>

CCC

Cross-Cultural
College

日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム

Canada-Japan
Collaborative Program for Educating
World Citizens as Future Leaders



 KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY


Be a Leader of World Citizens

クロス・カルチュラル・カレッジとは

日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム

Cross-Cultural College

【 目的と特徴 】  **カナダの学生と「協働」で学ぶ**






 **多国籍な場面で活躍できる実践的な能力を養う**

Cross-Cultural College (CCC) とは、関西学院大学とカナダの4大学(下記参照)が協働で運営するバーチャル・カレッジです。異文化理解やコミュニケーション力を持ち、多文化を共生させながら、グローバル社会の持続的な発展と成長に寄与できる世界市民リーダーズを育成します。また、2020年度からはウエスタン/キングス大学も加わり、5大学でプログラムを運営しています。

カナダの参加大学

 <p>ウエスタン/キングス大学 King's University College at Western University</p>  <p>きめ細やかな少人数教育により、カナダ国内や海外から評価されている小規模リベラルアーツ大学。2020年度秋学期より新規加入!</p>	 <p>マウント・アリソン大学 Mount Allison University</p>  <p>リベラルアーツ大学の中で長年カナダNO.1に選ばれている。</p>
 <p>クイーンズ大学 Queen's University</p>  <p>ダイバーシティー豊かな質の高い教育・研究で、カナダ国内はもちろん世界的にも高く評価されている。</p>	 <p>トロント大学 University of Toronto</p>  <p>教育・研究業績で世界的に高い評価を受けている大規模総合大学。</p>

CCCがめざす世界市民リーダー像

-  多文化共生や社会の持続的発展への貢献に必要な基礎知識を持ち、現在グローバル社会が直面している課題を幅広く理解している。
-  カナダと日本に共通する課題について、文化的・社会的背景を含めて多角的な視点で把握し、その解決に向けた具体的な方策を提起することができる。
-  異文化コミュニケーション能力(実践的な英語運用能力を含む)を有し、他国の人達の考えを理解し、かつ自分の考えも的確に表現できる。
-  異なる文化や社会に関心を持ち、異なる背景を持つ人々の価値観を理解・尊重しながらチームで協働できる能力を身につけている。
-  実際に他国の人々と共通の目標のもとで協働する体験を通じて、グローバル社会において活動する自信と意欲を持っている。

【 歴史 】

関西学院大学とカナダとの交流の歴史は古く、今から100年以上も遡ります。関西学院大学のスクールモットーとなっている“Mastery for Service”を提唱したC.J.L.ベーツ第4代院長も、カナダ・メソジスト教会から赴任した宣教師でした。2009年に定めた「関西学院新基本構想」では、「多文化が共生する国際性豊かなキャンパス」をビジョンの一つに掲げています。その実現のため、トロントに海外オフィスを設けるなどカナダとの連携を一層推進しており、毎年500人を超える学生がカナダに留学しています。

【 メッセージ 】



マッケンジー・クラグストン 教授

CCCカレッジ長
学校法人関西学院 理事
関西学院大学 特別任期制教授
前駐日カナダ大使

Develop your human and professional skills to better contribute to society at home or abroad

The objective of the Cross-Cultural College is to help students develop the skills that will position them to better engage in a human, meaningful way with the wider world. University is the time to stretch oneself to the fullest, and the CCC is designed with that in mind: to introduce students to new perspectives and lifestyles that are very much a part of our globalizing international society. Through collaborative work on joint projects, Japanese and Canadian students will have a cross-cultural experience, see diversity in action and make friendships that will last a lifetime. Even if your longer-term aspirations lie more at home than they do abroad, remember that learning about others - and from others - makes us better understand ourselves. I can think of no more effective mechanism than the CCC to assist you in this regard. So, take up the challenge, join the program, and develop the communication and cross-cultural skills that will make you a world citizen.



水戸 考道 教授

CCC構想責任者
関西学院大学 法学部 教授

Practical experience will nurture the ability to act globally

グローバル社会の持続的な発展・成長を実現できるのは、どのような人なのでしょう? 関西学院大学では海外進出に積極的な企業約70社を対象に調査を行い、英語などの外国語の運用能力はもちろんのこと、優れた問題発見能力と解決能力のある人、そして文化の壁を乗り越え、多国籍な場所で一緒に行動できる人という結論に達しました。これは、私自身が25年近い海外勤務経験で感じていたことにも通じます。そこでCCCでは、日本とカナダの学生と一緒に課題を発見し、解決策を立案・実行する実践的な科目を中核に設置しています。また、インターンシップをはじめとして産業界と連携した科目も多く開講し、将来国際的な場で活躍する際に必須となる能力を養うプログラムを提供します。ぜひ多くの学生に挑戦してほしいと考えています。

Contents

- | | | | |
|-------|---|-------|-----------------|
| 01-02 | クロス・カルチュラル・カレッジとは | 07 | Online programs |
| 03 | Certificate Program | 08 | CCCとキャリア |
| 05 | Mobility Programs | 09-10 | CP対象科目一覧 |
| | <ul style="list-style-type: none"> Global Career Seminar in Japan Global Career Seminar in Canada Global Internship in Japan Field Study in Canadian Business | | |

Certificate Program

CCCでは、日本とカナダの学生が共に学ぶ「Certificate Program (CP)」を提供しています。

Certificate Program (CP)とは、関学生とカナダの4大学の学生を対象に提供する「修了証プログラム」で、両国の学生が協力して、企業等から与えられるビジネス課題に対する解決策を立案する実践的な科目を中心に学びます。使用言語は全て英語で、所定の16単位とTOEIC®820点相当以上の英語能力を修得した学生に、日加5大学が運営するCCCから修了証書を授与します。



このような学生に
オススメです

- グローバル社会で活かせる実践力を身につけたい
- これまでに身につけてきた英語力を維持、向上させたい
- 英語を学ぶのではなく、「英語で学ぶ」環境に身を置きたい
- 早期に修了証書を手に入れて、就職活動でアピールしたい

主なスケジュール

夏休みおよび春休みのプログラムは以下の通り実施されます。計画的に参加しよう！

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・募集説明会 ・8月プログラム 出願・選考	・参加者決定 ←	・8月プログラム 事前講義(オンライン) ※回数・日程は説明会で案内	→	・Global Career Seminar in Japan ・Global Internship in Japan		・募集説明会 ・2月プログラム 出願・選考 参加者決定	←	・2月プログラム 事前講義(オンライン) ※回数・日程は説明会で案内	→	・Global Career Seminar in Canada ・Field Study in Canadian Business	

※募集説明会および出願等の詳細については「国際教育・協力プログラム募集要項」を参照してください。

Certificate Program [CP]

オススメ!
Pick up 科目
**Introduction to
Multicultural
Studies**
通常学期および
秋学期集中で開講

P.08

選択必修科目

選択必修 ①

英語で多文化共生論を
学ぶ科目

[2 単位]

選択必修 ②

英語で国際関係論を
学ぶ科目

[2 単位]

選択必修 ③

カナダ側学生と
協働して学ぶ科目
(コア科目)

▶ P.05-06

[3 単位]

CP必要単位(計16単位)の内訳

選択科目

選択 ①

英語でCCCの理念に合致する内容を学ぶ科目

[9 単位]

P.06

オススメ!
PICK UPプログラム
**Field Study in
Canadian Business**

関学生同士のペアで行う
10日間のインターンシップ
プログラム



CP登録・修了の
手続きはこちらから

修了証プログラムを通して
ビジネスの場で役立つ
実践的な能力を身に付けよう!

- ・多文化の環境でのコミュニケーション能力
- ・異なる文化背景を持つ人の価値観を理解する能力
- ・効率的な問題分析・解決能力

CP修了要件

- ①定められた科目群の中からあわせて16単位を修得
- ②TOEIC®820点(またはTOEFL ITP®580点、TOEFL iBT®92点、IELTS(アカデミック)6.5点、英検1級)以上の英語能力を修得

CP修了のコツ

- ・英語中期留学トロント大学、英語中期留学マウント・アリソン大学参加者は、留学先で履修できる「カナダ研究」を選択必修1に算入できます。
- ・交換留学先で修得した単位をCP対象科目として認定できる場合があります。
- ・春・秋学期の集中講義も用意しているため、効率的に履修を進めることができます。

最新の対象科目情報はWebでご確認ください。

オススメ!
Pick up 科目
**Introduction to
International
Relations**
秋学期集中で開講

Mobility Programs

Mobility Programsとは、日加学生もしくは関学生同士がペアやグループとなり、企業等から与えられる課題の解決に向けて協働するプログラムです。いずれもCertificate Programの対象科目です。

出願資格 下記1~3を全て満たす者

- 1 学部2年生以上(大学院生を除く)
- 2 TOEIC®680点(またはTOEFL ITP®530点、TOEFL iBT®71点、IELTS(アカデミック)5.5点、英検準1級)以上のスコアを有する者
- 3 事前講義を含むプログラム全日程に参加できる者
※事前講義は学期期間中に複数回実施します。



Global Career Seminar in Japan / Canada

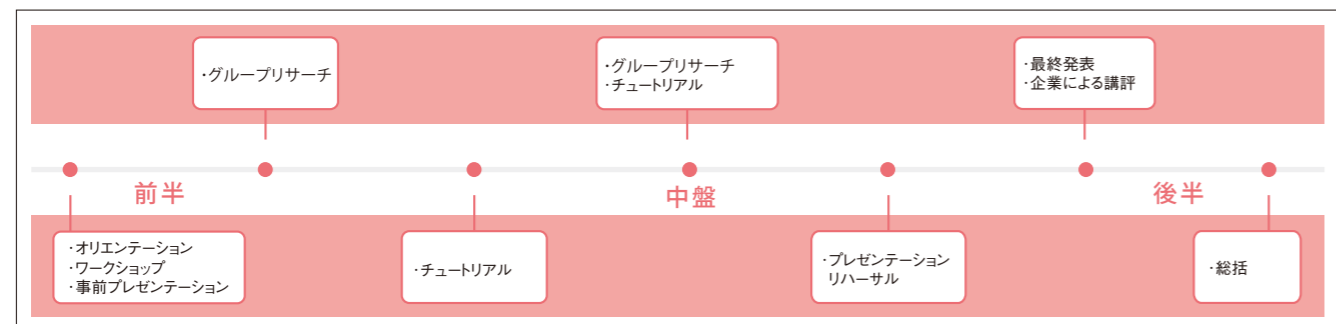
– 日加の学生がグループで行う企画立案型セミナー –

日加の学生混成のグループを組み、企業・団体等から提示された国際展開に関する課題について、その解決策を立案するプログラム。プログラム開始前には、オンライン講義を通じて日加のビジネスに対する理解を深め、カナダ学生とのディスカッションに備えます。プログラム前半では、企業・団体等の事業に精通し、第一線で活躍している方々に会い、直接情報収集を行います。その後、グループ内で解決策を導き出し、最終的に企業・団体等の担当者に対してプレゼンテーションを行い講評を得ます。普段なかなか会うことのできない企業・団体等の方々の考えに触れることにより、ビジネスならではの視点を学びつつ、多国籍な場での合意形成を体感します。日本で開講するプログラムでは、カナダからの学生に日本文化を伝えるアクティビティ等も行います。

※関西学院大学に在籍する外国人留学生とグループを組むこともあります。

実施期間	[日本実施]8月上旬(10日間) [カナダ実施]2月中旬(8日間)	CP対象 選択必修3	
実施場所	[夏季]西宮上ヶ原キャンパス [春季]カナダ・トロント大学		
単位	[夏季] グローバルスタディーズ科目「CCC Global Career Seminar in Japan」(3単位) [春季] グローバルスタディーズ科目「CCC Global Career Seminar in Canada」(3単位)		
事前講義	約15回(オンライン講義)		
協力企業・団体(過去実績)	カナダ大使館、(株)リコー、日本アイ・ピー・エム(株)、オリックス(株)、ガルーダインドネシア航空 他		

[プログラムスケジュール] ※変更の可能性あります。



Global Internship in Japan

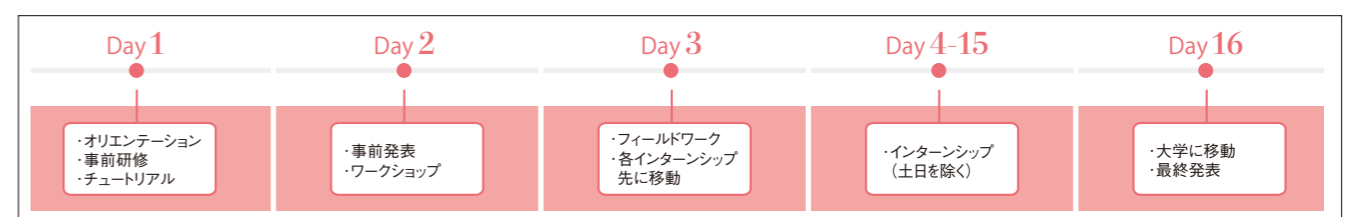
– 日加の学生がペアで行う課題解決型インターンシップ –

日加の学生がペアを組み、互いが助け合いながら海外展開に積極的な企業・団体等で10営業日間のインターンシップ(就業体験)を行うプログラムです。異なるバックグラウンドを持つ同士がペアになることで、それぞれの独自性を尊重しながら一つの目的に向けて協働することを体感できます。事前講義ではインターンシップに必要なビジネスに関する基礎知識を学び、事後講義ではプレゼンテーションを通じて各インターンシップ先での学びを学生全体で共有し、更なる気づきや学びを醸成します。

※関西学院大学に在籍する外国人留学生とグループを組むこともあります。

実施期間	8月下旬(2週間)	CP対象 選択必修3	
実施場所	西宮上ヶ原キャンパス及び各インターンシップ先		
単位	グローバルスタディーズ科目「CCC Global Internship in Japan」(3単位)		
事前講義	約2回		
協力企業・団体(過去実績)	(株)JTB西日本、富士ゼロックス(株)、EFエデュケーション・ファースト・ジャパン、全日本空輸(株)、(株)ウィズダムアカデミー、日本イーライリリー(株) 他		

[プログラムスケジュール] ※変更の可能性あります。



Field Study in Canadian Business

– 関学生同士のペアで行う、10日間のインターンシッププログラム –

関西学院大学の学生でペアを組み、カナダ・トロントにある国際展開に積極的な企業・団体で10営業日間のインターンシップを行うプログラム。日本国内のインターンシップでは体験できない、多文化社会であるカナダ特有のビジネス環境における実践的な課題分析・解決を通じて、カナダでのビジネス・マネジメントや文化に対する理解、コミュニケーションスキルを修得することができます。プログラム期間中はホームステイでの滞在となります。このプログラムは、Certificate Program (CP)の選択1に該当します。

実施期間	2月上旬(2週間)	CP対象 選択1	
実施場所	カナダ:トロント近郊のインターンシップ先及びトロント大学		
単位	グローバルスタディーズ科目「CCC Field Study in Canadian Business」(3単位)		
事前講義	複数回の事前研修を実施予定 ※日程については、募集説明会で案内します。		
協力企業・団体(過去実績)	Yamaha Canada Music、Nikkei Voice、EFエデュケーション・ファースト・トロント、日系文化会館(Japanese Canadian Cultural Centre)、ISX Canada		

[プログラムスケジュール] ※変更の可能性あります。



各プログラムの最新情報は、国際教育・協力センター(CIEC)ウェブサイトにてご確認ください。



Online Programs

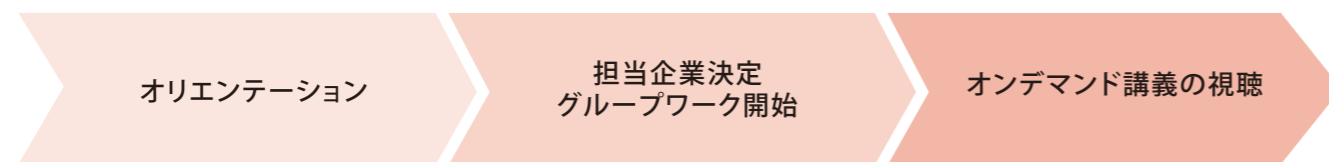
Global Career Seminar in Japan/Canadaの2プログラムは、日加間の渡航ができない場合、オンラインに切り替えて実施します。日加5大学の学生が混在するグループを構成し、日本またはカナダに所在する企業や団体等から与えられたビジネス課題に対する解決策を立案します。オンライン上で時差を克服してカナダの学生との協働学習を行うことで、グローバルな環境でのリサーチや合意形成のプロセスを経験することができます。

1 事前研修

プログラム開始前の学期期間中に事前学習を行います。ビジネスに対する理解を深めるとともに、企業ごとのグループ分けを行い、企業担当者への情報収集等を行います。また、事前講義では、企業から与えられる課題に対する企画立案に必要な知識を身につけるため、企業分析等の講義を受講します。同期型・非同同期型を合わせ、カナダ側学生との交流を含む10回～15回の講義が予定されています。

【講義の流れ】

- 夏季 Global Career Seminar in Japan 6月～7月
- 春季 Global Career Seminar in Canada 11月～12月



※授業と並行し、Facebook等を使用してカナダ側学生との交流を開始します。

2 集中講義期間

集中講義期間は同期型の講義が中心となります。カナダとの時差を考慮し、講義は主に午前中に実施されます。

【講義の流れ】

- 夏季 Global Career Seminar in Japan 8月下旬：10日間(各日1～2時間)
- 春季 Global Career Seminar in Canada 2月下旬：6日間(各日2～3時間)



単位	[夏季]グローバルスタディーズ科目「CCC Global Career Seminar in Japan」(3単位) [春季]グローバルスタディーズ科目「CCC Global Career Seminar in Canada」(3単位)
使用機器/ アプリケーション	PC、Microphone、Web camera / Zoom、YouTube、Facebook etc.

CCC For Your Future Career

CCCとキャリア

CCCでは、カナダの学生と協働で取り組むプログラムを提供しています。また、個々のプログラムへの参加だけでなく、4年間を通してCPに取り組むことで、英語力はもちろん、国際的な場における実践力を養うことができます。これまで、CCCに参加した多くの先輩達が在学中のCCCの経験を活かし、グローバルに活躍できる就職を実現しました。皆さんもぜひCCCに挑戦し、大学での4年間の学びを充実させてください。

4年生からのコメント

- Q. CCCでの経験はどのように自身の強みになりましたか。**
GCSIに参加して、自分がグループの中でどういう立ち位置の間人かがよくわかり、それは就職活動時の自己分析に役立ちました。
- Q. 就職活動で企業の方が注目してくれた活動はありましたか。**
チームの意見を聞き入れ組織構築に活かす力や海外の人とのコミュニケーション能力等を具体的なエピソードを混じえて話すことができ、高く評価してもらえました。
- Q. CCCでの経験がどのように就活・内定につながりましたか。**
CCCの経験は、自分のリーダー経験と、自分の志向性を示す根拠の一つとして、面接で活かすことができました。Global Career Seminar in Japanで外国人学生チームのメンバーを牽引した経験は、グローバルな環境でのリーダーシップを示す貴重な経験となりました。また、外国人学生との協働経験は「海外で働きたい」と考える私の志向性を補完する根拠ともなり、面接でも一貫性を持たせられ、アピールに繋がりました。

～CCC就職活動相談会～

例年12月初旬に実施しているCCC参加者対象のイベントです。在学中にCCCやCPに挑戦し、就職活動を終えた4年生のパネルディスカッションを行います。また、キャリアセンターの担当者による就職活動ガイダンスや先輩学生との座談会を通して、CCC参加者の就活について、情報収集を行うことができます。

4年間のCP取り組み例

- 1年次** ▶▶▶ 入学
- 2年次** ▶▶▶ CPスタート
【選択必修1】
Introduction to Multicultural Studies(2単位)
【選択必修2】
Introduction to International Relations(2単位)
【選択1】
Introduction to ASEAN(2単位)
International Relations of Japan(2単位)
Japan's Emigration Policy and Japanese Immigration(2単位)
- 3年次** ▶▶▶ 【選択必修3】
CCC Global Career Seminar in Japan (3単位)
【選択1】
総合日本学習科目(2単位)
US Economy(2単位)
Human Resource Management in the USA(2単位)
★CCC就職活動相談会に参加
- 4年次** ▶▶▶ TOEIC®830点取得
CP修了

Pick up!

Certificate Program (CP)の対象科目のうち、選択必修1・2の科目をそれぞれ紹介します！
CPの修了を目指す方にはもちろん、CCCだけでなく中長期留学の前後の学習としてもぴったりの講義です。
なお、いずれも受講のための英語要件がありますので注意してください。

受講方法は
こちら ▶▶▶



Introduction to Multicultural Studies 選択必修①

履修期：春学期/秋学期/秋学期集中(2月)*
Instructor: Timothy D. Kern, Lecturer, Ph.D.(Osaka Univ.)

In recent years, Japan has addressed multicultural and intercultural issues as its society and workplaces have had to focus on ways to engage with the influx of non-Japanese citizens in its communities and the need to participate in globalizing markets. This course will help you in understanding some of the theoretical discourses concerning multicultural societies and be challenged to analyze multicultural phenomena found in Japan and abroad. Discussions on what "culture" means and its multifaceted dimensions will initiate you into a clearer awareness of the dynamics in your own culture and society. The course is part of the CCC program and is open to full-time students of KGU as well as exchange students interested in learning about the various aspects of Japanese society as they relate to multicultural and intercultural problems. It is hoped that you, by interacting, can share from your particular backgrounds and enrich each other with your perspectives concerning cultural exchange.

※春学期・秋学期の授業は担当教員が異なる可能性があります。

Introduction to International Relations 選択必修②

履修期：秋学期集中(2月)
Instructor: De Soete Francois, Associate Professor, Ph.D.(The Univ. of British Columbia)

This course serves as an overview of international relations as a field of study, with a focus on history, theory, and a selection of case studies. To that end, this course starts off with an analysis of the major international relations theoretical models, ranging from various strands of realist thought to various post-positivist interpretations, and then proceeds with an analysis of case studies from different time periods and geographic locations. The lectures and assignments in this course will not only be informative, but will also help you develop the kind of critical thinking skills needed to understand and assess various international relations developments, past and present.

CP 対象科目一覧

(2022年度版)

		開講科目 (単位)		
必要 単位	履修基準年度			
	1年	2年	3・4年	
選 択 必 修 1	2	国際教育・日本語教育プログラム室開講科目		
		☆CCC Introduction to Multicultural Studies (2)	カナダ研究マウント・アリソン大学 (3) カナダ研究トロント大学 (3)	
		このほか、本学または交換留学・認定留学先で修得した単位で国際教育・日本語教育プログラム室長が認めるもの		
		教育学部		
		異文化理解 (2)	異文化コミュニケーション (2021年度以降入学生のみ履修可) (2)	
		総合政策学部		
			多文化社会論 (2)* 多言語多文化論 (2) Studies in Multicultural Society(2)* Multilingualism and Multiculturalism(2)*	
	国際学部			
		Religion and Society in the Contemporary World (2) Contemporary Multicultural Societies (2) Topics in International Politics B(001) (2) (2018年度以前開講分のみ)		
選 択 必 修 2	2	国際教育・日本語教育プログラム室開講科目		
		☆CCC Introduction to International Relations (2)	国際研究マウント・アリソン大学 (3) *	
		このほか、本学または交換留学・認定留学先で修得した単位で国際教育・日本語教育プログラム室長が認めるもの		
		総合政策学部		
			International Trade (2)	
		人間福祉学部		
		グローバル化社会と福祉 (2)		
	国際学部			
		Introduction to International Relations (2) * Introduction to International History (2) Introduction to International Law (2)	Global Governance (2) International Conflicts (2) Development Economics(2) International Relations in Europe (2) Topics in International Politics A(001)(2) (2018年度以前開講分のみ)	
選 択 必 修 3	3	国際教育・日本語教育プログラム室開講科目		
			☆CCC Joint Seminar in Japan (2) * ☆CCC Joint Seminar in Canada (3)* ☆CCC Global Internship in Japan (3)* ☆CCC Global Internship in Canada (3)* ☆CCC Global Career Seminar in Japan (3) ☆CCC Global Career Seminar in Canada (3)	
選 択 1	9	国際教育・日本語教育プログラム室開講科目		
		☆Topics in Canadian Studies A (2) ☆Topics in Canadian Studies B (2) ☆Topics in Canadian Studies C (2) ☆Topics in Canadian Studies D (2) ☆総合日本学習科目 ☆総合日本学習コースおよび中国・韓国学習コース科目群 (各1~3) (2016年度以前開講分のみ) International Scholar's Topics A (2) (2017年度以前開講分のみ) International Scholar's Topics B (2) (2017年度以前開講分のみ)	☆CCC Field Study in Canadian Business (3) このほか、本学または交換留学・認定留学先で修得した単位で国際教育・日本語教育プログラム室長が認めるもの	
		経済学部		
		Topics in Economics (in English)A (2) Topics in Economics (in English)B (2) Topics in Economics (in English)C (2)* Topics in Economics (in English)D (2)* Topics in Economics (in English)E (2) Topics in Economics (in English)F (2) Topics in Economics (in English)G (2)* Topics in Economics (in English)H (2)* Topics in Economics (in English)I (2) * Topics in Economics (in English)J (2)* Japanese and Asian Economies A (2) Japanese and Asian Economies B (2) 経済学トピックス F (2017) (2) US Innovation System (国際学部合併科目) (2) US Economy (国際学部合併科目) (2)		

選 択 1	総合政策学部		
	コミュニケーション総論 (2) Introduction to Communication (2)	比較文化論 (2) 異文化間コミュニケーション論 (2) エコロジー政策 (2) * Comparative Culture (2) * Intercultural Communication (2) * Ecological Policy (2) * 人口問題論 (2) (2018年度以前開講分のみ)	比較社会論 (2) 国際環境政策 (2) * 地域開発論 (2) 地球環境政策 (2) * 文化とグローバリゼーション (2) 非政府組織論 (2) Comparative Studies on Societies (2) * International Environmental Policy (2) * Regional Development (2) * Global Environmental Policy (2) * N.G.O. (2) * 過疎過密論(2)(2018年度以前開講分のみ) 社会言語学(2)(2020年度以前開講分のみ) 経済地理学(2)(2020年度以前開講分のみ)
国際学部			
Japanese Politics and Diplomacy (2) International Security (2) Japanese Economy (2) Business Ethics (2) Introduction to ASEAN: Society, Economy and Politics A (2)* Society, Economy and Politics B (2)* Management A (2) Management B (2) Traditional Japanese Arts (2)* Japanese Outlaws (2)* Introduction to Japanese Literature (2) Introduction to Japanese Culture (2) Prewar Japanese Diplomatic History (2) Prewar Japanese Political History (2) Postwar Japanese Political History (2) Postwar Japanese Diplomatic History (2) Christianity A (2) Christianity B (2) Japanese Pop Culture A (2) Japanese Pop Culture B (2) Japanese Pop Culture (2)(2019年度以前開講分のみ)	Japanese Religion (2) (2013年度「Religions in Japan」(2)) International Relations of Japan (2) Japan's Emigration Policy and Japanese Immigration (2) Foreign Policy Analysis (2) The Media Culture in North America (2)* Management in North America (2)* Marketing in the USA (2)* Contemporary Japanese Society and Culture (2) International Relations in ASEAN (2)* Management in Japan (2)* Japanese Financial Practices (2) Japanese Corporate Governance (2) Corporate Governance and Industrial Relations in- International Perspective (2)* Introduction to Documentary Film Studies(2)* Theories and Debates in the Studies of International Relations (2) * Cultures in the USA (2) American Society (2) * US Foreign Policy (2) US-Japan Relations (2) Canadian Foreign Policy (2)* Human Resource Management in the USA (2) International Management (2) Sociology of Cultures in Transition (2) Contemporary Chinese Society and Culture (2) Asia-Pacific Relations (2) Chinese Economy (2) US Economy(2) Introduction to Political Science (2) Environmental Governance in the European Union (2) Regional Policy in the EU (2) Industrial Policy in the EU (2) US Innovation System (2) International Finance and Asia-Pacific (2) International Trade and Asia-Pacific (2) Changing Images of Women (2) International Accounting (2)* Introduction to European Economic History (2) Economic History of the European Union (2) The European Union: History, Politics & Economy (2) Japanese and Asian Economies A (2) Japanese and Asian Economies B (2) Intercultural Understanding (2) (2013年度以前開講分のみ) East Asian Economies (2)(2013年度以前開講分のみ) Religion and State in East Asia (2)(2013年度以前開講分のみ) Special Topics in International Studies C(001) (2)(2018年度以前開講分のみ)		

1. 履修にあたっては、申込手続きが必要となる科目があるので、事前に各開講科目事務室で確認してください。
2. 所属学部の開講科目が自身の入学年度の教育課程表に記載されていない場合、履修できません。また、各科目の履修の条件は、履修心得等の各学部の履修に関する手引き及び科目提供学部の教育課程表を確認してください。
3. ☆の科目は履修申込時に TOEIC®680 点以上 (TOEFL-PBT®/ITP® 530 点、TOEFL-iBT®71 点、IELTS 5.5 点、英検準 1 級) 以上の英語能力の証明書が必要です。
4. 選択必修3は、開催国に関わらず、カナダの4大学 (ウエスタンキングス、マウント・アリソン、クイーンズ、トロント) の学生と「協働」で学ぶ科目群です。科目毎に募集定員が定められています。
※ただし、カナダ4大学の学生以外に本学に在籍している外国人留学生・交換学生、および海外協定校の学生との協働になる場合があります。
5. 選択必修1、選択必修2および選択必修3で修得した単位のうち、所定の単位数を超えた場合は、選択1の単位数に加えることができます。※ただし、1科目の単位を分割することは出来ません。
6. *マークがついている科目は、2022年度不開講の科目です。開講予定は2022年3月時点の情報です。